

平成25年度 夏のエコスタイルチャレンジ 取組み項目ごとの「具体的取組み方法」

①電気使用量の節減
冷房のスイッチを場所ごとに時間差で入れる
閉店後の早めの消灯・エアコンの停止
お客様の来店時間に合わせたショールームの冷房のon,off・夜間は早めにoff
日中は照明の使用を控え、窓を開けエアコンを控える
照明機器の間引き(1年中)
照明及びエレベーターの使用制限
こまめな蛍光灯消灯
照明の間引き、昼休み・人のいない箇所等の消灯徹底
外灯照明の消灯
照明(蛍光灯)の間引き及び既存器具のLED化
使用電力の大きい水冷クーラーの停止。外気と扇風機の使用により節電
LED蛍光灯へ交換
ロードサイン照明の時間調整
来客ない時ショールーム消灯 看板照明は状況に応じ点灯・消灯
キャノピースイッチの取り付け拡大
工場内の消灯の徹底
会社内の外灯の時間での消灯
ショールーム照明18:30消灯 展示場の200V水銀灯使用中止
不要な照明間引きの実施、野外看板の消灯
すだれの使用、ガラス遮光フィルムを張る、ブラインドの使用
ロールカーテンを下げ、開店時の温度上昇の緩和
西壁面へのヨシズを設置
涼しいうちは窓を開ける
トイレ便座ヒーターoff
冷蔵庫の温度設定を中にする
冷凍冷蔵庫の開放厳禁
装置の空転防止
複数大型設備の輪番稼働を実施
毎週木曜日のノー残業デーと平日の最終退社時間の計画設定
休日運転機器の見直し
生産計画の変更でピークを抑える。
エレベーター1台停止
デマンド監視装置によるピーク電力削減
エネルギー使用量の削減目標を揚げ、年度計画を策定し、省エネチーム活動により推進中
空調運転時間のスケジュール管理(期間は冷房期間中)
山形方式省エネ節電県民運動に参加
定時退社の徹底、職員のエレベーター使用制限
項目ごとに担当者を設定し、毎週チェック、随時声かけしながら取り組みます。
デマンド監視システム活用・昼休みの節電
コンプレッサー昼停止
複合機の節電設定(通年)
デマンドによるこまめな管理
担当者を決め定期的に各項目及び各部屋をチェックする
電気使用量を公開し節電意識を高める
電気使用量低減目標を定め、推移を管理する
週一回のノー残業デーの徹底。
使用量を毎月社員に知らせる。休日出勤をしない
生産/用力設備の効率稼働
大震災による電気使用量節減運動を生かし、極力電気使用量を減らす運動を行う